

<調査の概要>

- 1.調査実施日 令和4年4月20日(水)
- 2.調査の対象 小学校、義務教育学校前期課程及び支援学校小学部の第5・6学年
- 3.調査の内容 5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
6年生：わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
- 4.実施児童数 5年生：1,588名 6年生：1,586名 合計：3,174名

<調査結果の概要>

本市5年生の国語、算数の平均正答率は、対府比では昨年度から変化が見られませんでした。また、理科の平均正答率は、対府比で昨年度から0.05ポイント上回り、改善傾向が見られました。しかし、いずれの教科も府の平均正答率を下回っています。

5・6年生の「わくわく問題（教科横断型問題）」では、教科の結果と同様。府の正答率を下回ってはいますが、対府比では昨年度から0.05ポイント上回る結果となりました。

明らかになった課題の改善のために、各教科等で基礎的な言語能力の定着や情報活用能力の育成に取り組んでまいります。特に「わくわく問題」で問われているすべての教科や活動などで必要な力の育成に向けては、総合的な学習の時間の充実や各教科間の学習内容のつながりなどを意識した授業づくりに努めます。

また、昨年度から取り入れている、学びの土台づくり推進事業（コグトレ）や、ICT機器や学校図書館を活用した学習支援などを強化し、教育委員会・小中学校が一体となって、岸和田市の子どもの学力向上に取り組んでまいります。

<小学校5・6年【わくわく問題（教科横断型問題）】>

わくわく問題では、すべての教科や活動などで必要な5つの力が問われました

- A: 図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解する力
- B: 図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、自分の考えを持つ伝える力
- C: 図や表、文章などのつながりを見つけ、新しく課題を考える力
- D: 図や表、文章などのつながりを見つけ、順序よく筋を通して考える力
- E: 意欲を持って、工夫して相手に伝える力

R3			R4		
岸和田市	大阪府	対府比	岸和田市	大阪府	対府比
52.0	60.1	0.87	59.3	64.5	0.92

◎良好なところ◎

- ・自分が伝えたいことについて、複数の資料の中からふさわしい資料を選ぶこと
- ・資料から新たな課題を考え、自分の考えを自由に表現すること

▲課題となるところ▲

- ・複数の資料を関連付けながら読み取り、資料の情報を整理して伝えること
- ・理由や根拠を明確にして伝えること
- ・資料の内容を適切に分類し、それぞれを端的な言葉で説明すること



<小学校5年 各教科平均正答率について>

	R3			R4		
	岸和田市	大阪府	対府比	岸和田市	大阪府	対府比
国語	76.0	81.6	0.93	71.8	76.8	0.93
算数	42.0	48.5	0.87	36.4	42.0	0.87
理科	42.9	49.2	0.87	66.2	72.2	0.92

◎良好なところ◎

- <国語>
 - ・対義語の理解や、指示語の内容を捉えること
 - ・情報と情報の関係を理解して、文の内容を正しく捉えること
- <算数>
 - ・時間に着目して所要時間を計算し、時刻を求めること
- <理科>
 - ・電気回路において、プロペラが逆回転した理由を説明すること

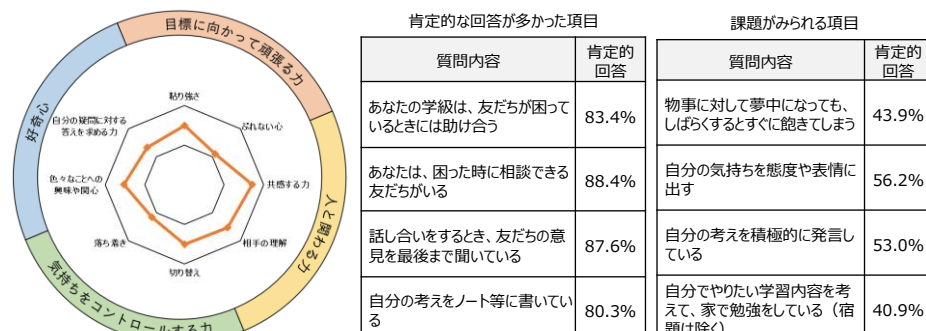
▲課題となるところ▲

- <国語>
 - ・ことわざや故事成語を理解すること
 - ・主語に合うように述語を適切な形に直すこと
 - ・漢字やローマ字を正しく書くこと
 - ・接続表現を用いて二文を一文に書き直すこと
- <算数>
 - ・平行四辺形の特徴（性質）を利用して、式や言葉で表現すること
 - ・伴って変わる2つの数量の関係を理解し、言葉や式で表現すること
- <理科>
 - ・実験器具の使い方を正しく理解すること
 - ・直列回路を図で表現すること
 - ・実験結果をもとに考察し、表現すること

<「未来に向かう力」と「好奇心」について>

子どもの将来には、テスト等で測ることのできる「学力」の他に、非認知能力が大事です。非認知能力については「目標に向かって頑張る力」、「人と関わる力」、「気持ちをコントロールする力」の3つを「未来に向かう力」として府教育庁が定義しています。また、新しい知識や経験を探究する原動力となる「好奇心」も大事と考え、併せてアンケートでその状況をたずねました。

児童の回答状況を集約すると、岸和田の子どもの全体の傾向として、「人とかかわる力」のうち特に「共感する力」が他の力に比べて高いという結果がでています。一方、「目標に向かって頑張る力」のうちの「ぶれない心」や「気持ちをコントロールする力」のうちの「落ち着き」が他に比べて低い傾向であるという結果でした。



令和4年度 岸和田市学力調査 結果概要

岸和田市教育委員会

調査の概要

1. 調査の目的 児童生徒の学力の状況と課題をよりの確に把握し、それに応じた学習指導の改善や充実に役立てる。
2. 調査実施日 令和4年4月21日（木）
3. 調査の対象 市内小学校3・4年生（3年生：1,482名 4年生：1,515名 合計：2,997名）
4. 調査の内容 国語、算数

調査結果の概要

3、4年生ともに、全国平均得点率は昨年度よりも下回る結果となりました。また、昨年度と同一学年の市平均得点率を比較すると、一部の項目では前年を上回るものもありましたが、全体的に若干下回る結果でした。特に国語の「書く」力、算数の「図形」の力は依然として課題となっています。言語能力や数量・図形感覚は、発達段階に応じて段階的に育てていくものです。この結果を、今後の指導に生かして習熟に努めるとともに、授業改善をさらに進めてまいります。

平均得点率について

【3年生】

【4年生】

国語	R3			R4		
	市	全国	全国比	市	全国	全国比
伝わるように話す・話し合う	68.7	72.8	94	66.6	72.6	92
大事なことを聞き取る	81.7	84.8	96	80.6	85.2	95
ていねいな言葉で話す	76.6	79.0	97	74.0	81.7	91
事柄や順序を考え書く・推敲する	58.3	64.4	91	54.8	65.4	84
文や文章を正しく書く	48.7	55.8	87	43.6	55.5	79
漢字の書き・片仮名の書き	86.9	90.7	96	86.5	90.5	96
内容の大体を捉える・感想の共有	60.8	65.0	94	66.7	75.3	89
重要な語や人物の行動を捉える	61.0	66.3	92	58.5	63.6	92
漢字の読み、主語述語の理解	80.6	86.0	94	80.4	86.6	93

<国語>

- ◎良かったところ◎
 - ・漢字・片仮名を書くこと
 - ・大事なことを聞き取ること
- ▲課題となるところ▲
 - ・事柄や順序を考えて書くこと
 - ・文や文章を正しく書くこと

国語	R3			R4		
	市	全国	全国比	市	全国	全国比
構成を考え話す・話し合う	63.5	67.0	95	61.4	69.7	88
工夫して話す・内容を捉えて聞く	75.0	76.8	98	72.6	79.0	92
指示語を理解して使う	65.1	67.7	96	63.3	69.0	92
構成を考え書く・推敲する	47.4	55.8	85	44.1	56.0	79
目的に応じて工夫して書く	48.0	54.0	89	46.1	54.7	84
漢字の書き・ローマ字の書き	57.9	63.2	92	56.4	64.4	88
主題を読み取る・考え感想の共有	44.8	51.7	87	44.8	52.3	86
詳細を読み取って解釈する	64.8	69.9	93	61.3	69.7	88
漢字の読み	73.7	74.3	99	76.1	79.3	96

<国語>

- ◎良かったところ◎
 - ・漢字の読み、指示語の理解
 - ・工夫して話したり、内容を捉えて聞く
- ▲課題となるところ▲
 - ・構成を考えて話す、書く
 - ・目的に応じて工夫して書く

算数	R3			R4		
	市	全国	全国比	市	全国	全国比
数の構成と表し方	79.6	84.3	94	80.2	84.0	95
たし算とひき算	51.1	55.2	93	51	55.7	92
かけ算	57.6	60.8	95	56.2	62.5	90
三角形や四角形	54.2	60.4	90	52.3	60.6	86
長さ、かさ	66.8	74.2	90	66.9	73.7	91
時間の単位	80.0	79.0	101	73.9	81.3	91
表やグラフ	79.8	81.7	98	77	83.7	92

<算数>

- ◎良かったところ◎
 - ・数の構成と表し方について
- ▲課題となるところ▲
 - ・三角形や四角形についての理解

算数	R3			R4		
	市	全国	全国比	市	全国	全国比
整数の表し方	77.9	79.0	99	75.8	79.7	95
たし算とひき算	71.9	78.3	92	71.9	77.3	93
かけ算	68.8	76.5	90	71.4	75.0	95
わり算	58.2	59.0	99	51.4	61.0	84
小数	78.4	82.8	95	75.9	81.0	94
分数	72.6	82.0	89	73.1	80.5	91
□を用いた式	59.1	63.8	93	54.7	64.3	85
二等辺三角形、角、円	69.1	71.9	96	65.0	72.3	90
長さ、重さ	70.8	75.6	94	70.2	74.7	94
時刻と時間	70.9	74.0	96	68.6	74.0	93
表と棒グラフ	65.0	65.5	99	58.9	66.3	89

<算数>

- ◎良かったところ◎
 - ・たし算・ひき算・かけ算
- ▲課題となるところ▲
 - ・わり算
 - ・表と棒グラフ

全体的には全国平均得点率を下回っており、昨年度の市の平均得点率よりも若干下回る結果となりました。かねてから課題となっている国語の「書くこと」や、算数の「図形」に関する力は、依然として課題です。

低学年から語彙力や言語能力・図形感覚・数量感覚等を高めていくことは、これから先の学習内容を身に付け、自分で考えたり相手に伝えたりする上で大切になってきます。それらの力を育成する取り組みを継続してまいります。

全体的には全国平均得点率を下回っており、昨年度の市の平均得点率と比べると、国語においては「構成を考え」話す・書くという項目は大幅に下回りました。また算数においては、かけ算は改善傾向でしたが、わり算や表と棒グラフの項目で大幅に下回りました。課題点を踏まえた指導を進めるとともに、授業改善に一層取り組んでまいります。